

令和4年度第1回みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会会議録

○日時：令和4年6月21日（火） 14：30～15：10

○場所：宮代町保健センター大会議室

○出席者：並木部会長、松尾委員、島村委員、長澤委員、今西委員、斉藤委員、久保委員、伊達委員、大久保委員、伊東委員、田口委員、伊藤委員、金子委員、平島委員、岡村委員

○会議次第

1 開 会

2 議 題

(1) 令和3年度みやしろ健康福祉プラン－高齢者編－進行管理評価表（最終評価）について

(2) 令和4年度みやしろ健康福祉プラン－高齢者編－目標設定表について

(3) 避難行動要支援者支援制度について

3 その他

4 閉会

○議題

(1) 令和3年度みやしろ健康福祉プラン－高齢者編－進行管理評価表（最終評価）について

- ・資料1に基づき事務局から説明
- ・質問なし

(2) 令和4年度みやしろ健康福祉プラン－高齢者編－目標設定表について

- ・資料2に基づき事務局から説明
- ・質問なし

(3) 避難行動要支援者支援制度について

- ・資料3に基づき事務局から説明
- ・質問：避難行動要支援者支援制度の対象となる方の資格はあるのか。
回答：介護認定が3以上であること、1級・2級等の重い身体障害者手帳の交付を受けているなどの様々な該当要件がある。
- ・質問：受け入れる施設側としては、急に受け入れとなっても、その方に合った対応ができない。必ず事前に打ち合わせをしていないと受け入れは難しい。

回答：施設の受入にあたっては、町から一方的にこの方を受け入れて下さいという
お願いの仕方はしない。必ず個別にご相談をさせていただいて、可能かどう
か、可能な場合はどういった協力が必要か調整させていただきたい。

- ・質問：私どもの施設は福祉避難所となっている。先ほど、受け入れにあたっての個
別相談の話があったが、対象者のリストが完成した後に、この方の受入れをお
願いしたいという個別の相談があるということになるのか。

回答：一度に対象者全員の避難計画を作成するのは難しいことから、モデルケース
を数名作成し、福祉避難所への避難が必要となった場合に受け入れについて相
談させていただきたいと考えている。今年度は、多くて3人のモデルケースを
想定している。

- ・質問：災害時は、施設の職員も施設に来られるかわからない状況であり、まして入
居者で家に帰る人はいないと考えられる。災害時は入居者への対応で手一杯な
状況が予想されるので、避難場所は用意するが、ぜひ避難者のご家族も一緒に
来て欲しい。

回答：個別避難計画は、支援が必要な方を誰が、どこへ避難させるかというもの。
誰かがいないと福祉避難所へ繋げない。そのために必要な課題は、まず避難行
動の支援が必要な方の名簿。次に、その人を助け出して避難所まで連れていく
人。もう一つは避難所。避難が必要な人の近くの施設に引き受けのご相談をさ
せていただくというのが本日のお願いだが、施設側も入所者がいることやスペ
ースの問題等があると思われるが、町全体で困っている人を助けたいという気
運を醸成することが先決と考えている。

- ・質問：名簿の対象となる条件が身体障害、介護認定等あるが、介助が必要にも関わ
らず何も手続きをしていない人が多く埋もれていると感じている。町が作成す
るというのも一つだが、身近に親戚がいなく一人暮らしで手続きが進まず、危
ない状況の人が結構いると思う。そういう人は名簿にあがってこないという状
況を考慮して欲しい。

回答：そのような方の情報を集める手段を検討したい。現段階では、機械的に判定
をしているが、ご意見を参考に検討していきたい。

○その他

- ・事務局からの報告

第9期事業計画の策定に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等を令和4年
度実施予定